

コンクリート面及び押出成形セメント板面

7章8節: 耐候性塗料塗り(DP) DNTシリコンスマイルクリーン

公共仕様No.
DNT-改修・8-3-03

使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JASS 18 M-201 反応形合成樹脂ワニス	マイティー万能エポシーラー クリヤー	F☆☆☆☆	塗料用シンナー 又は 塗料用シンナーA
2 JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 2級	DNTシリコンスマイルクリーン	F☆☆☆☆	塗料用シンナー

塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し弱い部分を除く。
2 汚れ、付着物除去	—			素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	—			特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又は C-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
5 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂ワニス	2液形エポキシ 樹脂ワニス	全面に塗り付ける。

- (注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。
 2. 2液形エポキシ樹脂ワニスは、上塗り塗料製造所の指定するものとする。
 3. 新規に塗装を行う場合は、RA種とし、工程1に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。
 4. JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。
 5. 屋内で現場塗装をする場合、工程5の吸込止めに使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.8.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り【B-1種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	マイティー万能 エポシーラー	クリヤー	主剤14: 硬化剤1	30~50	刷毛 ローラー	0.08	4時間以上※1
					スプレー		
2 中塗り	DNTシリコン スマイル クリーン	各色	主剤90: 硬化剤10	5~10 5~15	刷毛 ローラー	0.14	2時間以上
					スプレー		
3 上塗り	DNTシリコン スマイル クリーン	各色	主剤90: 硬化剤10	5~10 5~15	刷毛 ローラー	0.10	—
					スプレー		

- (注) JASS 18 M-201及びM-404は、日本建築学会材料規格である。
 ※1: 壁面での塗り重ね最小時間です。屋根面での歩行可能な最小時間は16時間です。

7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整
 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

7.8.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り
 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りは、表7.8.3により、種別は特記による。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
 * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。